

[ 5 ] 中心市街地活性化に向けたこれまでの取組と評価

( 1 ) 前中心市街地活性化基本計画の概要

- 計画期間：平成20年11月から平成26年10月（平成20年11月11日認定）
- 区域面積：約115ha
- テーマ：－自分参加でつくる 生き甲斐都市こうふー
- 基本的な方針
  - ・ 買い物の場として楽しめる中心市街地の再生
  - ・ 歴史や文化にふれることのできる中心市街地の再生
  - ・ 定住の場として選ばれる中心市街地の再生
- 目標と成果指標

目標	目標指標	基準値(年)	目標値(年)
目標① 近隣商業と都心型商業が共存する商店街の再生	小売販売額	47,449百万円 (H19)	49,640百万円 (H26)
目標② 拠点・設や歴史文化・設の整備によるにぎわいの創出	歩行者通行量	182,231人 (H19)	188,010人 (H26)
目標③ 住環境整備や居住支援によるまちなか定住促進	居住人口	5,804人 (H20)	6,090人 (H26)



容積率 600%の商業地域、舞鶴城公園周辺、駅周辺土地区画整理事業地、朝日通り沿線 [朝日通り商店街]、連雀問屋街周辺、舞鶴小学校周辺といった、中心市街地に必要な要素を備えた地域をもって対象地域としたが、結果として単なる一つの面としてとらえ、地域の取組とのつながりが薄かった。

## (2) 各事業の実施状況

前計画 78 事業のうち、33 事業が完了又は完了見込みで 38 事業が計画通り進行中となっており、実施率は 91%である。

事業別の実施状況は次のとおり。

### 1) 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業

事業名	実施主体	内 容	実施状況
拠点形成事業・甲府駅北口多目的広場等整備事業 (地域生活基盤施設)	甲府市	新都市拠点整備事業のうち甲府駅北口の多目的広場(4,827 m <sup>2</sup> )自転車駐車場(鉄骨2階建、1,020台収容)の整備	平成 21 年度完了  活発なイベント等の活用により、活性化に寄与
拠点形成事業・甲府駅北口歩行者支援施設等整備事業 (高品質空間形成施設)	甲府市	甲府駅北口から人工地盤、緑化施設等の整備により駅前広場、都市計画道路歩道、都市計画道路街路灯等のグレードアップを図る。	平成 21 年度完了  利用者の利便性と環境を一体的に向上
拠点形成事業・観光交流センター (藤村記念館)移築事業 (既存建造物活用事業)	甲府市	藤村記念館(国指定重要文化財)を武田神社境内から甲府駅北口多目的広場に移築する。	平成 21 年度完了  広場等の利用との相乗効果で有効に活用
まちなか回遊道路整備事業	甲府市	中心市街地の回遊性を高めるためのまちなか回遊道路を整備する(甲府駅北口エリア)	平成 24 年度完了  回遊性向上により、エリアの歩行者通行量が増加
甲府駅北口観光案内板設置事業	甲府市	甲府駅北口に観光案内板を設置する	平成 22 年度完了  観光客の利便性向上に寄与
紅梅地区再開発事業	甲府紅梅地区再開発組合	店舗、住居、教育施設、駐車場を併設した複合施設の建設	平成 22 年度完了  専門学校の入居、マンション分譲、駐車場の運営等は当初見込みどおり実施したが、店舗は空き床の発生により、見込どおりの成果が上がらなかった

事業名	実施主体	内 容	実施状況
甲府駅周辺土地 区画整理事業	甲府市	地区内面積 21.9ha において、都市基盤施設の整備と敷地の整序 ・地区内の都市計画道路（10 路線）等の整備	平成 35 年まで継続予定  甲府駅周辺の土地の高度利用が図られた
シビックコア地区整備事業（新合同庁舎建設）	関東地方整備局	市内外に分散している国の出先機関を一箇所に集約（単身者住宅 102 戸を含む）する行政棟建設事業	平成 23 年度完了  集約による利便性向上とともに、公務員宿舎は当該地区の人口増加にも寄与
舞鶴跨線橋歩道整備事業	山梨県	丸の内～北口区間 2 6 0 m の歩道整備	平成 22 年度完了  歩道の整備により快適な快癒環境が生まれ、動線上の歩行者通行量が増加
古府中環状浅原橋線整備事業 （中央四丁目工区）	山梨県	古府中環状浅原橋線と国道 4 1 1 号との交差点改良事業、全長 3 5 0 m、幅員 18m	実施中  平成 26 年度完了予定
濁川改修事業	山梨県	約 610m のバイパス水路整備	平成 24 年度完了  今後も他の区間で、道路整備等に伴い水路整備実施
甲府城跡櫓門整備事業	山梨県	甲府城跡櫓門（鉄門）の整備	平成 24 年度完了  歴史的建築物の復元により、甲府城跡の魅力が向上し、来街者が歴史にふれる機会を創出
都市計画道路和戸町竜王線整備事業	甲府市	中央 4 丁目工区約 2 0 0 m の整備	実施中  平成 32 年度完了予定
まちなか回遊道路整備事業 （紅梅北通り線道路改良事業）	甲府市	バリアフリー基本構想による紅梅地区の路線約 1 2 0 m の道路改良事業	平成 22 年度完了  バリアフリー化により、利便性向上

事業名	実施主体	内 容	実施状況
まちなみ推進事業	甲府市	ポケットパークの設置、花苗の植栽により都市景観の向上を図る	実施中 フラワーポット設置等、事業継続
セントラルパーク設置調査・検討事業	(株)岡島・甲府市	来街者の利便性向上を図るため、中心市街地に大規模の駐車場の設置を検討する	検討を行ったが、耐震化の優先等により実施は見送りとなった
オリオン通り四つ角再開発調査・検討事業	甲府市	紅梅町の再開発に合わせ交差点をはさんで隣接する他の3ブロックはトータルのまちづくりに重要であり、今後の再開発を検討する	当事者意向等により、整備の実施には至らなかった
桜町四丁目駐車場整備事業	桜町四丁目商店街・甲府市・甲府商工会議所	地元商店街が取得した土地と既存駐車場をあわせた駐車場整備を行った。今後は交通拠点としての整備等の活用を検討する	隣接地にスーパーマーケットを誘致し、連携して駐車場を有効活用する検討が行われたが、新たな整備の気運が高まらなかった
甲府駅南口市街地再開発検討事業	甲府市	甲府駅南口の土地の高度利用を目指し、市街地再開発事業を検討する。	協議会を開催するも、協議先の同意が得られず、実施に至らなかった
甲府駅南口周辺地域修景計画策定事業	山梨県・甲府市	甲府駅南口周辺地域における公共施設等の再整備を中心とした修景計画の策定	平成23年度完了 本計画に基づき、平成25年度より整備に着手
甲府駅南口周辺整備事業・甲府駅南口駅前広場	山梨県	甲府駅南口周辺地域修景計画に基づく、駅前広場の整備	実施中

2) 都市福利施設を整備する事業

事業名	実施主体	内 容	実施状況
新県立図書館の整備	山梨県	甲府駅北口県有地の高度活用としての新県立図書館の整備	平成 24 年度完了  目標を大きく上回る来館者により、活性化に寄与
地場産業紹介ディスプレイ設置事業	甲府市	ペDESTリアンデッキ北側に地場産業を紹介するディスプレイを設置	平成 22 年度完了  地場産業の P R に寄与
県庁舎耐震化等整備事業	山梨県	耐震改修等が必要な県庁舎の耐震化整備	実施中  庁舎耐震化のほか、新庁舎（防災新館）の 1 階に交流施設、飲食店、地場産品販売店、ジュエリー展示施設等を設置し、付近の歩行者通行量が増加
宝石美術専門学校の移転	山梨県	現在愛宕山にある宝石美術専門学校を紅梅地区再開発ビルの中に移転する	平成 22 年度完了  学生による周辺の活性化
まちなか健やかサロンの運営事業	甲府市	中心市街地のビルに保健師 1 名を常駐させ乳児から高齢者までの子育て・健康・介護相談、健康教室等を実施する	実施中  まちなかの安全・安心な生活に寄与
岡島リニューアル計画	㈱岡島	老舗百貨店の大規模な店舗改修計画	実施主体の諸々の事情により、耐震化を優先させることとなったため、実施には至らなかった
中心市街地における大学サテライト事業の実施	大学コンソーシアム山梨	県内大学の単位互換や一般開放講座の実施	平成 21 年度完了  計画どおり実施
N H K 甲府放送局移転事業	N H K 甲府放送局	現在飯田にある NHK 甲府放送局が甲府駅北口のシビックコア地区に移転する事業	平成 24 年度完了  放送とイベントの連動により、活性化に寄与

事業名	実施主体	内 容	実施状況
市役所新庁舎の建設	甲府市	新庁舎を現在地で建替え、市民が日常的に集い、ふれあう場を創出する	平成 25 年度完了  市民コミュニティホールや展望ロビーの開放等による、新たな交流拠点が形成

3) 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他の住宅の供給のための事業及び当該事業と一体として行う居住環境の向上のための事業等

事業名	実施主体	内 容	実施状況
まちなか定住促進事業	甲府市	新たに中心市街地に居住する世帯に対する購入費補助	平成 24 年度完了  人口において、目標値の 94%を達成
紅梅地区再開発ビルへの住宅建設	甲府紅梅地区再開発組合	紅梅地区再開発ビルへ住宅 104 戸の建設	平成 22 年度完了  マンション完売により、居住人口増に寄与
甲府銀座ビル再整備事業	土地権利者等	住居整備を含んだ甲府銀座ビルの再整備	売却が決定され次第実施する

4) 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置

事業名	実施主体	内 容	実施状況
大規模小売店舗立地法の特例措置の要請	甲府市	中心市街地において大店立地法の規制を緩和する区域を山梨県に要請	平成 20 年度完了  平成 21 年度指定
第一種大規模小売店舗立地法特例区域の指定	山梨県	中心市街地において大店立地法の規制を緩和する区域の指定	平成 21 年度完了  商業振興を促進

事業名	実施主体	内 容	実施状況
オリオン・スクエア整備事業	甲府城南商店街振興組合	老朽化したアーケードの撤去と周辺商業施設とあわせた新たな商業ゾーンの創出、メイン・ホールの整備に係る、特定民間中心市街地活性化事業計画の経済産業大臣の認定	平成 21 年度完了 平成 22 年 2 月認定
オリオン・スクエア整備事業 (ハード事業・ソフト事業)	甲府城南商店街振興組合	老朽化したアーケードの撤去と周辺商業施設とあわせた新たな商業ゾーンの創出、メイン・ホールの整備と当該区域での商業活性化ソフト事業の実施	平成 22 年度完了 近代的で開放的なアーケードの設置による景観向上と、アーケードを活用したイベントの展開等で周辺の歩行者通行量が増加
幕絵を活用したイベント事業	甲府商工会議所	幕絵を一般募集し、中心商店街に展示・審査することにより、江戸時代の商家のイメージの喚起と集客を図る	平成 21 年度完了 継続や拡大は困難な状況
やまなし映画祭事業	甲府商工会議所、やまなし映画祭実行委員会	県内関連作品の上映など、映像を通したふるさとの魅力 PR・再発見事業	実施中
甲府銀座ビル活用事業	甲府市・(株)オギノ	ダイエー撤退後の空きビルを活用し、ふれあい交流広場、男女共同参画センター、まちなか健やかサロンなどの市民の交流、相談の場を設置するとともに、地元のスーパーが入店し、生鮮食料品等の販売を行っている	平成 20 年度完了 ビル売却により事業終了 その後東京国税局により差し押さえられ、空きビルとなる
空店舗対策事業	甲府商工会議所	銀座街の駅、桜座、よつびし総研等空き店舗に入居する事業者の支援及び新たなまちの駅の設置の検討	平成 24 年度完了 多くの入居者が営業を継続

事業名	実施主体	内 容	実施状況
ヴァンフォーレ 甲府の活用による 中心商店街活性化事業	甲府市	「まちなかヴァンフォーレプラザ」の運営、中心商店街における各種イベントのヴァンフォーレ甲府の選手の参加によるにぎわい創出	実施中
一店逸品創出事業	甲府商工会 議所	既存の逸品の周知や新たな逸品の創出等による経営革新	平成 23 年完了  参加店の自主活動が継続中
まちなかミュージックフェスタ	甲府商工会 議所	桜座を中心にライブハウスが集積したことによる音楽とリンクしたまちづくり	実施中  「甲府ジャズストリート」に発展し、活性化に寄与
創業者等への個別支援事業	甲府商工会 議所	チャレンジショップ、家賃補助等による創業者や既存の経営者への家賃補助	平成 24 年度完了  空き店舗活用事業で継続、拡充
商人（あきんど）塾事業	甲府市、甲府 商工会議所	商業事業者対象の個人セミナーを開催し、年次的に個店改造事業を実施するとともに次世代の商店街リーダーを育成する	平成 21 年度完了  以後自主活動が継続中
イベント推進事業	かすが商店街振興組合 外各商店街	中心商店街における商店街単位のイベント実施に対する支援	平成 24 年度完了  提案型による中心市街地活性化事業に発展
山梨まんなか市場設置運営事業	山梨県	中心市街地の空き店舗を活用し、県産農産物と加工品の直接販売業務を委託	平成 23 年度完了  店舗は営業継続中 地元などの買い物需要に対応
甲州夢小路整備事業	(株)タンザワ	大正・昭和等のまちなみの再現による美術館、宝石博物館、飲食、物販ゾーン等の施設整備	平成 24 年度完了  歩行者の新しい動線と観光拠点を形成



事業名	実施主体	内 容	実施状況
合同会社まちづくり甲府の運営	甲府市、商工会議所、商店街連盟等	まちづくりの事業を専門に行う会社による推進体制の整備	実施中
ポイントカード・システム事業	合同会社まちづくり甲府	各店にカード端末機を設置し、買い物に応じてポイントの発行、ポイント倍額セール、旅行券が当たるイベント等を実施	実施中
武田信玄公像のライトアップ事業	甲府市	甲府市の象徴である信玄公像のライトアップを行うことにより新たな観光スポットの創出とイメージアップを図る	実施中
信玄公祭り・甲府大好きまつり等実施事業	甲府市実行委員会	中心市街地で開催される春の信玄公祭り及び武田城下祭り、夏の甲府大好きまつりの拡充	実施中 継続と拡充により、賑わいを創出
ヴァンフォーレ広場運営事業	ヴァンフォーレ広場実行委員会	VF甲府アウェー戦のパブリックビューイング等、中心市街地においてヴァンフォーレ甲府をテーマに県民が交流する場を設置する	平成22年度完了 パブリックビューイングは市庁舎大型ビジョン等を活用し継続中
県民情報プラザの利活用	山梨県	県民情報プラザ1階において、「甲斐の国 風林火山博」の展示物を主体に、風林火山の世界を紹介する「風林火山なるほど時代館」としてリニューアルする。 また、「やまなし・しごと・プラザ」を開設し、幅広い年齢層の就職を支援する。	平成21年完了 庁舎立て替えにより閉館 やまなし・しごと・プラザは移転
商店街の店舗デザイン向上事業	甲府商工会議所（委託先：合同会社まちづくり甲府）	店舗改装者の募集と設計士、芸術家等の公募による商業デザインコンテストの実施で商店の魅力向上と文化の発信	平成21年度完了 受賞者が短期間に改装を行えないため辞退し、継続実施が出来なかった

事業名	実施主体	内 容	実施状況
やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業 (YY プロジェクト)	山梨県教育委員会	県内大学生等に中心市街地活性化施策を公募し、最優秀アイデアに対して実践のための助成を行う	平成 22 年度完了  やまなし若者中心市街地活性化コンソーシアムに発展
コリド桜町アーケード改善調査・検討事業	常盤通り名店街	アーケードの老朽化による撤去と植栽等による商店街の整備を検討する	検討の結果、大規模な改修が困難だったため、鳥害防護ネットや雨どい補修を実施した
大学コンソーシアムによるイベント事業	大学コンソーシアム山梨	県内大学生の連携によるイベントを開催し、住民や事業者が参画することにより、地域の活性化を図る	平成 19 年度完了  学習に重点を置くため、イベントは継続しなかった
大規模集客施設の立地に関する方針の運用と見直し	山梨県	郊外部の保全と市街地への集積、地域貢献活動を通じた立地地域との共生の考え方を盛り込んだ方針の運用と立地動向を踏まえた見直しの検討	実施中  平成 19 年度に策定し、平成 20 年度より運用中
ホームページ「甲府城下町」の拡充	甲府中心商店街 IT 推進委員会	現在の中心商店街 20 店余りの参加を拡大し、充実した内容とする	実施中  現在有志が継続しているのみで、拡充の見込みはない
春日あべにゆうナイトフェスタ	春日通り商業協同組合	夜の街を演出するイルミネーションの設置と歌謡ショーや多国籍屋台村を設置したイベントの実施	平成 20 年度完了  TMO 基金を活用して実施したが、自主的な継続が出来なかった
こうふ・タウンファンタジー事業	甲府商工会議所・合同会社まちづくり甲府	中心商店街において、冬のイルミネーションを実施するとともに協賛セール等を行う	平成 21 年度完了  自主的な継続ができなかった
やまなしヌーボー推進事業	山梨県ワイン酒造組合	11月3日を「やまなしヌーボー」解禁日とし、中心商店街と協働して「山梨ヌーボーまつり」を開催する	平成 22 年度完了  平成 23 年度より区域外で開催

事業名	実施主体	内 容	実施状況
中心市街地再生モデル事業	合同会社まちづくり甲府	不動産の所有と利用の分離手法を活用して、空き店舗等の利用権を集めテナントマネジメントを行う	平成 24 年度完了 多くの店舗に入居があったが、満床にはできなかった
(仮称) まちなか楽しみマップ作成事業	合同会社まちづくり甲府	中心市街地の商店街紹介や提携駐車場情報等を掲載したマップ(冊子・インターネット配信)の作成	平成 22 年完了 「甲府まちなかショッピング&パーキングガイド」を作成、配付し、ホームページに掲載し、情報発信
朝日通り商店街「ハナミズキ構想」によるまちづくり事業	朝日通り商店街	ハナミズキにスポットを当てたイベント等の実施	実施中 朝日通り商店街の活性化に寄与
にぎわい創出事業	B 級ご当地グルメよっちゃばれ市 in こうふ実行委員会	B 級ご当地グルメよっちゃばれ市 in こうふの開催及びその効果分析	平成 23 年度完了 平成 24 年度の関東・東海 B-1 グランプリ開催に結びつき、賑わいを創出した
新たな空き店舗対策事業	甲府市	空き店舗支援制度の対象の拡大	実施中 新計画の策定に向け、従来の制度を拡充して実施
提案型による中心市街地活性化事業	甲府市	地域との連携が深いイベントの提案に対し、手厚く支援	実施中 新計画の策定に向け、従来の支援を効率化、拡充し実施
小グループ自主的取組支援事業	甲府市	小単位のグループの意欲的なまちの魅力向上等の活動を支援	実施中 新計画の策定に向け、新たに創設
ストリート再生チーム事業	合同会社まちづくり甲府	民間主導により、実際に現場でリノベーション等、通りの再生に取り組む	実施中 新計画の策定に向け実施内容を発展させながら実施

事業名	実施主体	内 容	実施状況
イベントビューロー事業	ストリート再生チーム	イベント実施者の手続き等の支援と、地域との橋渡しや類似イベントとのコーディネートを行う	ストリート再生チームの機能の中で展開
クリエイター若手育成支援事業	ストリート再生チーム、甲府市、山梨県、甲府商工会議所	若手ジュエリークリエイターの招聘や居住、講師やインキュベーションマネージャーの招聘により、地場産業であるジュエリー産業の発展や技術者の育成を行う	ストリート再生チームの中で実施中
商店街と警察署の連携による通りの環境づくり	ストリート再生チーム、商店街連盟、自治会等	住民や商店主等が主体となり、環境美化や景観配慮のほか、警察署と連携して交通や風紀等の諸問題の解決を図る	ストリート再生チームの中で実施検討中

5) 1) から 4) までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

事業名	実施主体	内 容	実施状況
無料回遊バス・レトボンの利便性向上事業	甲府商店街連盟	現状の商店街回遊ルート の改善と駅北口の集客施設等と中心商店街を連結する新ルートの新設による利便性の向上とにぎわいの創出	実施中  北路線の増設により、多様なニーズに対応したが、利用者数増加にはつながっていない
共通駐車場システム構築事業	合同会社まちづくり甲府	商店街、大型店、駐車場事業者が連携して共通無料駐車券システムを構築する	当時、一部の管理システムに互換性を持たせるために、多額の費用がかかることもあり、大型店や駐車場事業者の賛同が得られなかったことで、実施には至らなかった
バス利用買い物客への乗車券サービス事業	合同会社まちづくり甲府	バス利用の買い物客へのバス利用券の配布し、来街者の利便性の向上を図る	商店主等へのアンケートの結果、需要が見込まれなかったため、実施に至らなかった

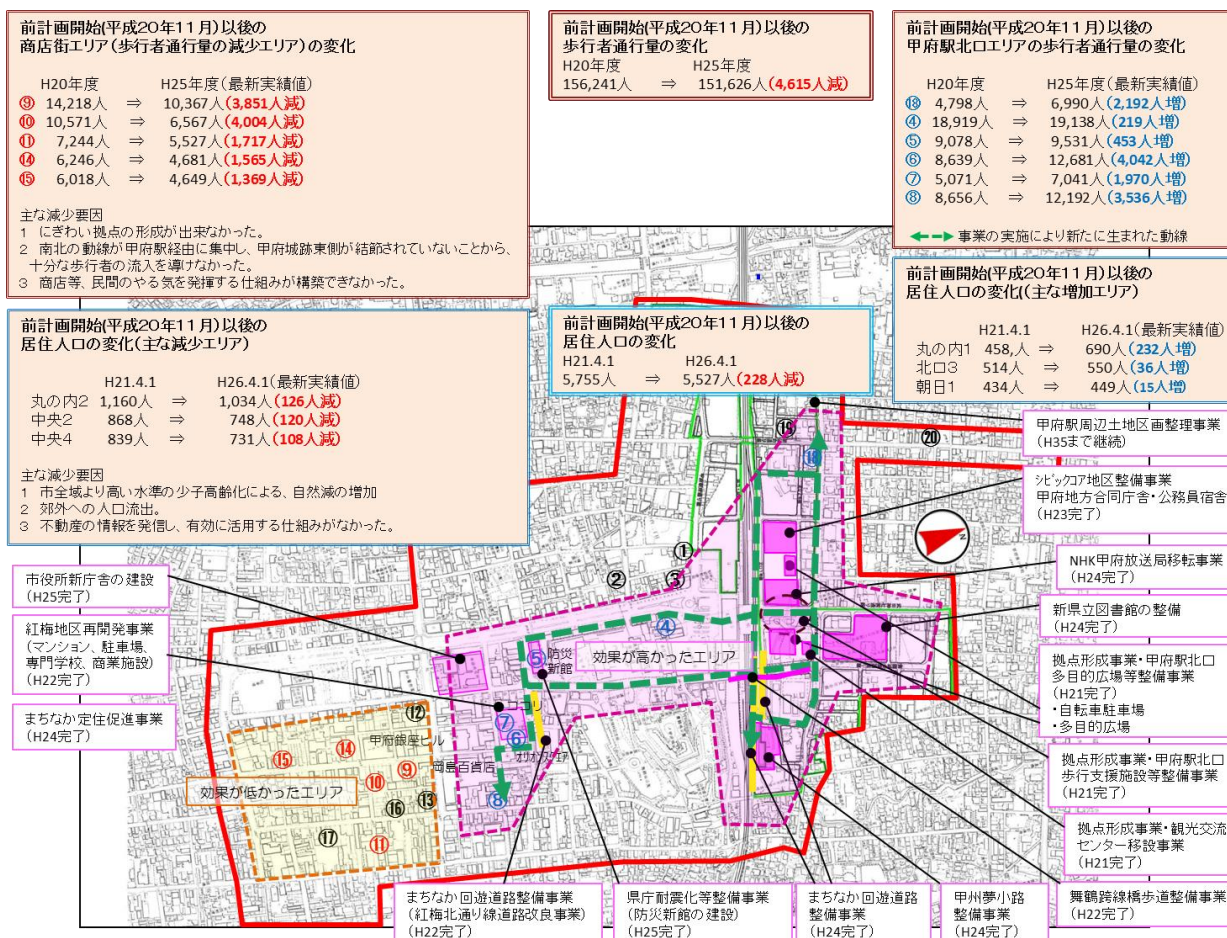
### (3) 前計画の検証

#### 1) 目標値、実績値、達成度

##### 前計画の目標値と実績値および達成度

項目	基準値	目標値	実績 (推計を含む)	達成度 (%)
小売販売額	47,449 百万円 (H19)	49,640 百万円 (H26)	42,829 百万円 (H24 推計)	86.3
歩行者通行量	182,231 人 (H19)	188,010 人 (H26)	151,626 人 (H25)	80.6
居住人口	5,804 人 (H20.4.1)	6,090 人 (H26.4.1)	5,527 人 (H26.4.1)	90.8

#### 主要な事業の位置と事業効果



本市の前計画では、甲府駅北口エリアにおける拠点形成事業とその関連事業など、複数の事業が連携して、都市機能集積と「歴史、文化」の拠点づくりという大きなテーマで整備を行うことができ、完成後の広場等の施設の有効利用により、賑わいの創出に大きく貢献した。

また、オリオンスクエア周辺においても、ハード整備と連携したソフト事業展開により賑わいが見られるとともに、北口とオリオンの間をつなぐルートに人の動線が生まれたことで、一定の成果を得られた。

しかし、岡島百貨店から南側の、中心商店街の中核エリアにおいては、店舗の減少や小規模駐車場の増加が進む中、ココリの空き床の入居が進まず、甲府銀座ビルの空きビル状態が続く等のマイナスイメージや、北口エリアのような各事業の相乗効果がなく、民間のやる気を発揮できる

仕組みをつくる役割を行政が十分に果たせていなかったことなどにより、新たなにぎわいの拠点が形成できず、大きな成果がみられなかった。

各指標においては次のとおり検証する。

- ①小売販売額 主な未達成要因としては紅梅地区再開発事業において商業施設「ココリ」の空き床が、現在もなお約3割を占めており、地下1階から2階まで、いずれのフロアーにも、まとまった大きな区画が空き床となっていることによるイメージダウンの影響も少なくない。また、エリア内の店舗数も減少傾向が続いている。
- ②歩行者通行量 甲府駅北口エリアやオリオンスクエア周辺及び、両エリアを結ぶ動線上の歩行者通行量は一定量の増加が見られたが、事業効果が低かった中心商店街エリアでは減少し、全体を引き下げる結果となった。
- ③居住人口 紅梅地区再開発事業による良質な住宅の提供や、まちなか定住促進事業による居住支援などの効果により、当該エリアにおいては人口増加が見られたが、市内全域と比べて高い少子高齢化傾向等を要因とした、人口の自然減の進行を改善することができなかった。

## 2) 主要事業の状況と効果

項目		小売販売額		歩行者通行量		居住人口	
主要事業の状況	紅梅地区再開発事業 (商業施設)	当初見込	5,978 百万円	当初見込	55,860 人		
		H24末推計値	3,319 百万円	H25実績より	14,783 人		
	紅梅地区再開発事業 (居住施設)			当初見込	1,872 人		
				H25実績より	1,860 人		
	甲州夢小路事業	当初見込	390 百万円	当初見込	520 人		
		H24末推計値	なし (H25.3.25開業)	H25実績より	986 人		
	シビックコア事業 (単身者住宅部分)	当初見込	167 百万円	当初見込	645 人	当初見込	102 人
						H25末事業実績より	69 人
	まちなか定住促進事業 (他事業の効果を含む)	H24末推計値	229 百万円	H25実績より	726 人	当初見込	355 人
						H25末事業実績より	268 人

	宝石美術専門学校の整備	当初見込	255 百万円	当初見込	768 人		
				H25 実績より	748 人		
	シビックコア地区整備事業			当初見込	2,208 人		
	NHK 甲府放送局移転			H25 実績より	3,997 人		
	新県立図書館の整備	H24 末推計値	128 百万円	当初見込	360 人		
				H25 実績より	2,555 人		
	市役所新庁舎の建設			当初見込	688 人		
				H25 実績より	1,843 人		
	商業活性化のソフト事業の成果	当初見込	1,423 百万円	当初見込	5,467 人		
		H24 末推計値	1,228 百万円	H25 実績より	4,498 人		
主要事業の実施効果	紅梅地区再開発事業（商業施設）	<p>再開発事業の商業施設分のテナント入居状況は現在、約 74.4%であるが、非商業施設分を除くと、約 70.4%という状況で、見込みを下回っている。</p> <p>2 階をホビータウンとし、ゲームやアニメーション関係商品を扱っていることから、中高生等を中心に集客効果を見せ、隣接するオリオンスクエアの整備事業との相乗効果で、周辺の歩行者通行量が増加傾向にある。</p> <p>しかし、いずれの階にも大きな区画の空テナントがあるため、商業施設として賑わっているイメージを与えることは困難な状況。</p>					
	紅梅地区再開発事業（居住施設）	<p>マンションについては完売しており、新規居住者はほぼ見込みどおり確保されたと考えられる。</p> <p>上記の通り、他の歩行者通行量計測ポイントと比較し、紅梅地区再開発事業に伴う施設周辺の歩行者通行量や、JR 甲府駅や駅前バスターミナルに向かう歩行者通行量が増加していることから、買い物、通勤・通学時等に通過するなどし、一定の効果があつたといえる。</p>					
	甲州夢小路事業	<p>テナントを県内業者に限定して募集しているため、入居状況は区画の半数程度であるが、一階店舗はほぼ埋まっており、集客状況は当初見込を超えている。</p>					

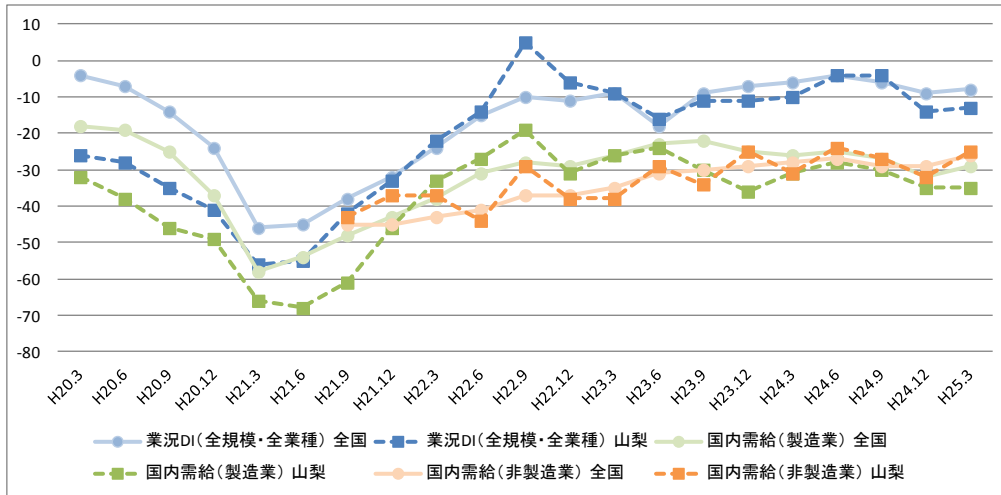
シビックコア事業 (単身者住宅部分)	シビックコア事業のうちの国家公務員単身者住宅の建設や紅梅地区再開発によるマンション供給など、良質の住居が提供されたことで、両事業実施区域である丸の内一丁目は、計画認定直後平成20年4月1日と平成25年4月1日とを比べ、224人の人口増となった。 また、当該施設周辺の歩行者通行量において増加が見られることから、事業の効果が現れているといえる。 しかし、高齢化を要因とすると思われる自然減も同時に進んでいるため、全体的に人口減少傾向が続いている。
まちなか定住促進事業 (他事業の効果を含む)	
宝石美術専門学校の整備	定員数を確保していることから、当初見込みをほぼ達成している。周辺の歩行者通行量計測ポイントの数値が増加傾向であることから、通学等による歩行者通行量の増加に一定の効果があった。
シビックコア地区整備事業	各事業ともほぼ予定どおりに実施され、当該地の勤務者の増加や手続き、催事、施設利用等の集客効果等を発揮している。 特に県立図書館は当初見込みを大きく上回る来館者を迎え、JR甲府駅北口エリアの賑わいに貢献している。
NHK甲府放送局移転	
新県立図書館の整備	
市役所新庁舎の建設	新庁舎建設にあたり、夜間までの市民開放スペースや市民活動に供するスペース等の設置により、当初見込み以上の利用が図られている。
商業活性化のソフト事業の成果	積極的に取り組んだエリアにおいては、一定の成果が見られた。



## 2) 社会状況について

○小売販売額関係

図1-10 日銀短観・景況判断 DI の推移(全国・山梨)

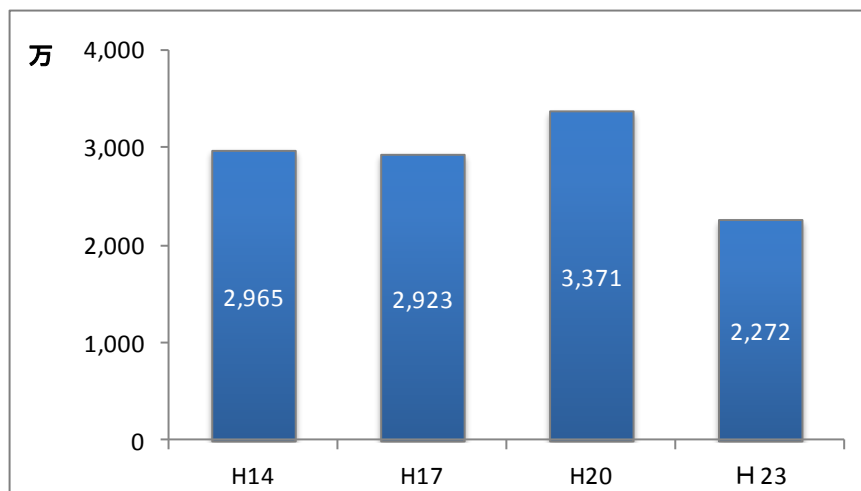


出所:日銀、同甲府支店 Web サイト掲載分を取りまとめ

業況DIは表示3系列の中で高めの水準にあるが、0を下回っており、依然景況判断は悪いとの認識が強い。製品サービスの国内需給については業況DIを下回る水準にある。

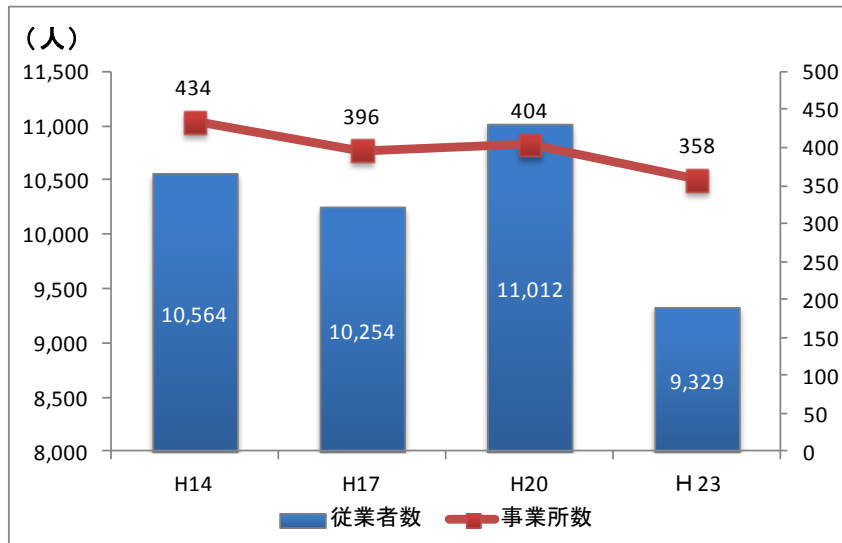
- ※ 山梨県の国内需給(非製造業) DI は資料公表が H21. 9 からとなっている。※算出の方法は、各判断項目について3個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答社数を単純集計し、全回答社数に対する「回答社数構成百分比」を算出した後、次式により算出している。
- ※  $DI = (\text{第1選択肢[例: 良い、需要過剰]の回答社数構成百分比}) - (\text{第3選択肢[例: 悪い、供給過剰]の回答社数構成百分比})$

図1-11 製造品出荷額等の推移



出所:経済産業省 H14~H20 工業統計、H24 経済センサス 活動調査

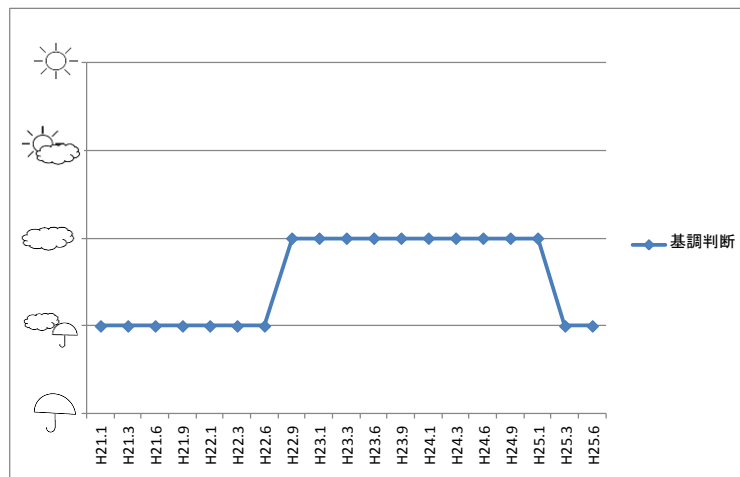
図1-12 従業者数・事業所数の推移



出所: 経済産業省 H14~H20 工業統計、H24 経済センサス 活動調査

甲府市の製造品出荷額等は、平成14年以降横ばい傾向にあったが（平成20年には増加）、平成23年には減少している。また、従業者数、事業所数とも同様の傾向にあり、平成20年に増加しているが、平成14年から比較すると減少傾向となっている。

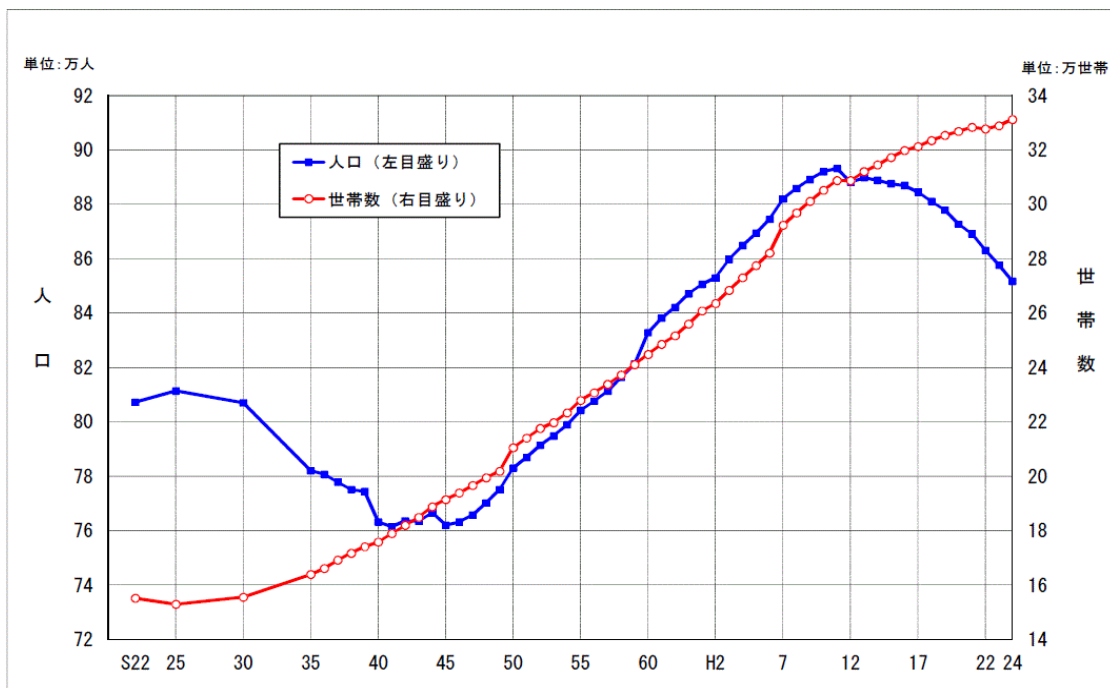
図1-13 県内個人消費・基調判断推移(日銀甲府支店)



出所: 日銀甲府支店 Web サイト掲載分を取りまとめ(掲載回数は年度により一定せず。概ね4半期となるように調整済)

前計画期間、後半はふつう（曇り）レベルまで持ち直したが、期間前半および直近時はやや低調（弱雨）寄りに推移している。

○居住人口関係



注) 国勢調査実施年は、推計の基準となる人口及び世帯数が切り替わるため、国勢調査前年の人口及び世帯数の変動数は常住人口調査による増減数と一致しない。

図1-14 山梨県における人口・世帯の推移

平成 24 年度 山梨県常住人口調査結果報告(山梨県統計ホームページ)

[http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/HP/24jyoujyuu01.html](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/24jyoujyuu01.html)

山梨県の人口は減少傾向にあり、平成 24 年には 86 万人を下回っている。

	甲府市			中心市街地		
	人口	世帯数	世帯人員(人)	人口	世帯数	世帯人員(人)
昭和 58 年	200,473	67,495	2.97	9,109	3,295	2.76
昭和 63 年	200,444	70,894	2.83	8,210	3,115	2.64
平成 5 年	198,977	74,660	2.67	7,242	3,047	2.38
平成 10 年	193,796	76,913	2.52	6,592	2,896	2.28
平成 15 年	189,498	79,005	2.40	5,996	2,811	2.13
平成 20 年	193,013	83,751	2.30	5,804	2,871	2.02
平成 25 年	189,897	86,164	2.20	5,611	2,977	1.88

表1-3 甲府市および中心市街地における人口・世帯の推移 (単位:人、世帯、人)

出所:住民基本台帳(毎年4月1日現在)

※ 平成 25 年、20 年、15 年、10 年は 4 月 1 日現在、平成 5 年、昭和 63 年、58 年は 1 月 1 日現在平成 18 年 3 月に、旧甲府市、中道町および上九一色村北部地域が合併して現在の市域となっている。

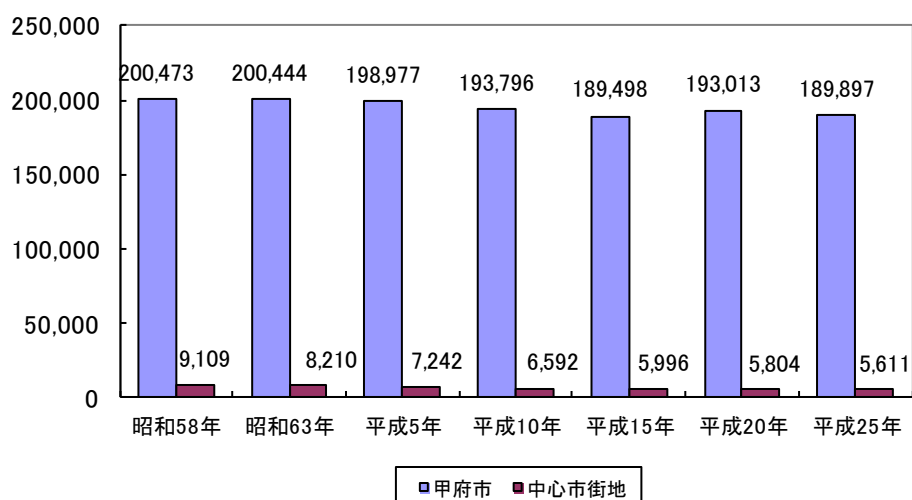


図1-15 甲府市および中心市街地における人口の推移 出所:住民基本台帳(毎年4月1日現在)

甲府市の人口は、昭和60年前後をピークに減少傾向にある。昭和58年と比較し、平成25年には約5%減少している。

	人口(人)	老年人口(人)	老年人口比率(%)	生産年齢人口(人)	生産年齢人口比率(%)	年少人口(人)	年少人口比率(%)
昭和55年	199,262	19,101	9.6	134,612	67.6	45,469	22.8
昭和60年	202,405	22,612	11.2	139,038	68.7	40,755	20.1
平成2年	200,626	26,616	13.3	139,523	69.5	33,996	16.9
平成7年	201,124	32,348	16.1	139,067	69.1	29,645	14.7
平成12年	196,154	38,018	19.4	131,162	66.9	26,928	13.7
平成17年	194,244	43,064	22.2	125,604	64.7	25,495	13.1
平成22年	193,403	47,398	24.5	119,317	61.7	24,637	12.7

表1-4 甲府市における年齢別人口の推移

資料:国勢調査(旧中道町、旧上九一色村分を除く)

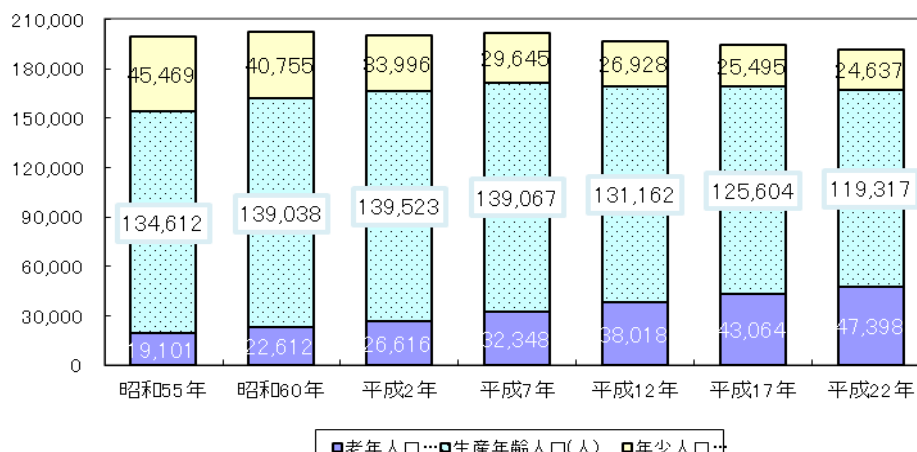


図1-16 甲府市における年齢別人口の推移

出所:国勢調査 H22は旧中道町、旧上九一色村を除く

甲府市全体の人口を年齢階層別に見ると、年少人口は30年間でおよそ2万人の減少となっている。

生産年齢人口はグラフ上のピーク時(平成2年)に比べて2万人以上が減少している一方、老年人口は30年間で2.5倍近くも増加しており、市全体の人口に占める老年人口の比率が高まっている。

	人口(人)	老年人口(人)	老年人口比率(%)	生産年齢人口(人)	生産年齢人口比率(%)	年少人口(人)	年少人口比率(%)
平成8年	6,667	1,808	27.1	4,169	62.5	690	10.3
平成9年	6,682	1,815	27.2	4,171	62.4	696	10.4
平成10年	6,592	1,859	28.2	4,051	61.5	682	10.3
平成11年	6,453	1,862	28.9	3,967	61.5	624	9.7
平成12年	6,299	1,862	29.6	3,846	61.1	591	9.4
平成13年	6,221	1,864	30.0	3,795	61.0	562	9.0
平成14年	6,105	1,847	30.3	3,667	60.1	591	9.7
平成15年	5,996	1,862	31.1	3,576	59.6	558	9.3
平成16年	5,879	1,835	31.2	3,495	59.4	549	9.3
平成17年	5,710	1,806	31.6	3,367	59.0	537	9.4
平成18年	5,611	1,819	32.4	3,276	58.4	516	9.2
平成19年	5,767	1,811	31.4	3,424	59.4	532	9.2
平成20年	5,804	1,825	31.4	3,450	59.4	529	9.1
平成21年	5,755	1,842	32.0	3,391	58.9	522	9.1
平成22年	5,767	1,865	32.3	3,376	58.5	526	9.1
平成23年	5,767	1,840	31.9	3,421	59.3	506	8.8
平成24年	5,660	1,814	32.0	3,324	58.7	522	9.2
平成25年	5,611	1,858	33.1	3,243	57.8	510	9.1

表1-5 中心市街地の年齢別人口の推移

資料:住民基本台帳(毎年4月1日現在)

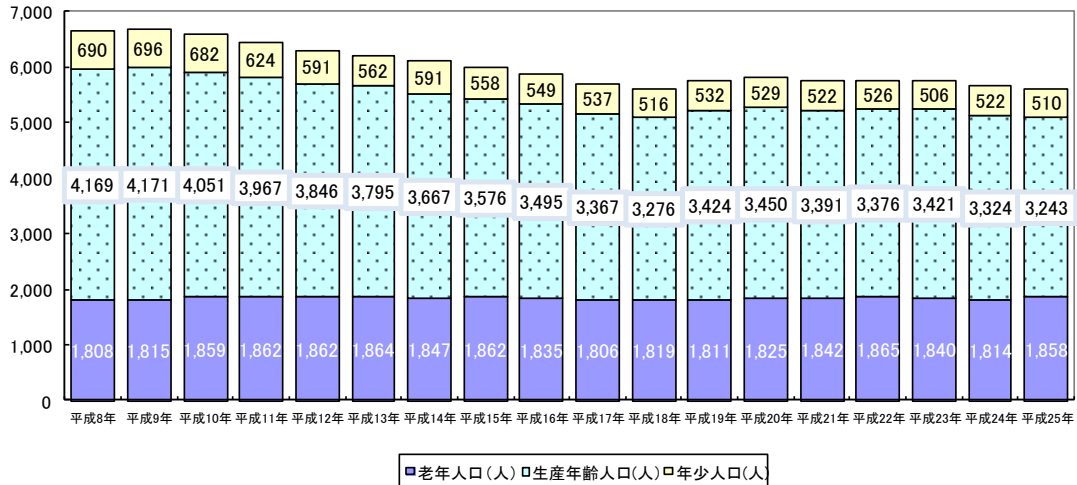


図1-17 中心市街地の年齢別人口の推移 出所:住民基本台帳(毎年4月1日現在)

中心市街地の人口を年齢階層別に見ると、平成20年と平成25年を比較し、年少人口は529人から510人(約3.5%減少)、生産年齢人口は3,450人から3,243人(6%減少)と減少傾向となっている。

一方、老年人口は1,825人から1,858人(約1.8%増加)と増加傾向となっている。

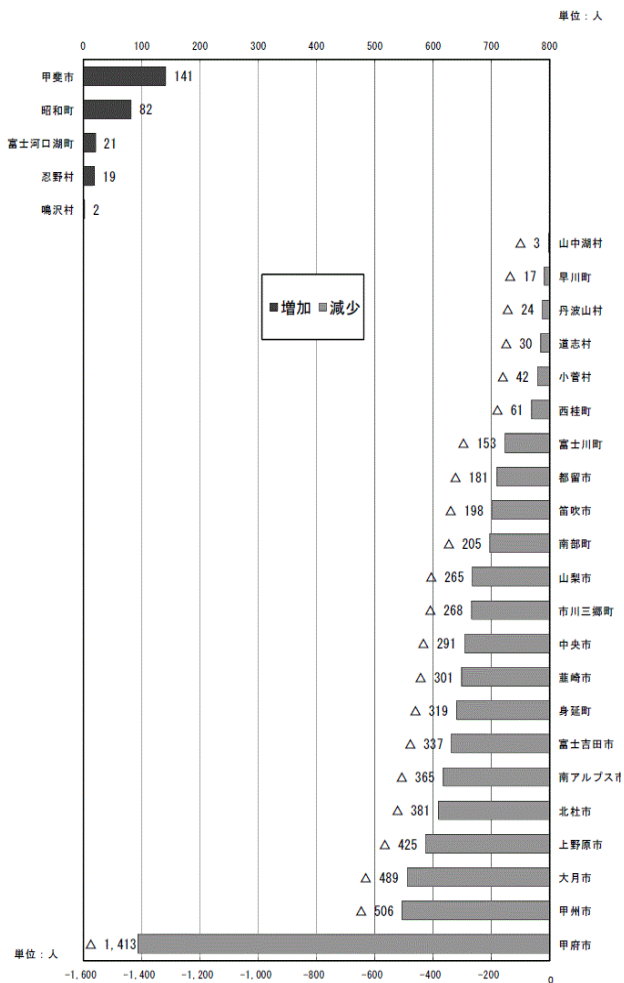


図1-18 市町村別人口増減状況

(平成23年10月～平成24年9月)

資料:山梨県統計

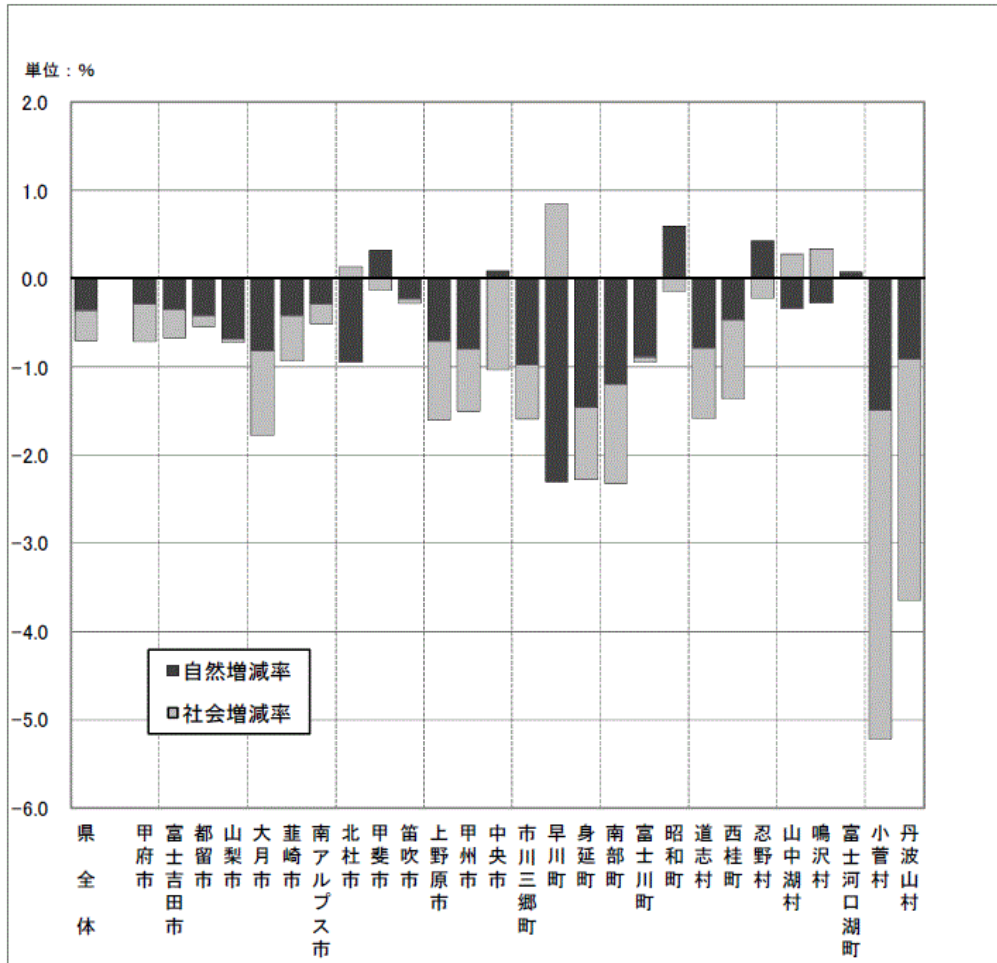


図1-19 市町村別人口の増減要因(平成23年10月～平成24年9月)

資料:山梨県統計

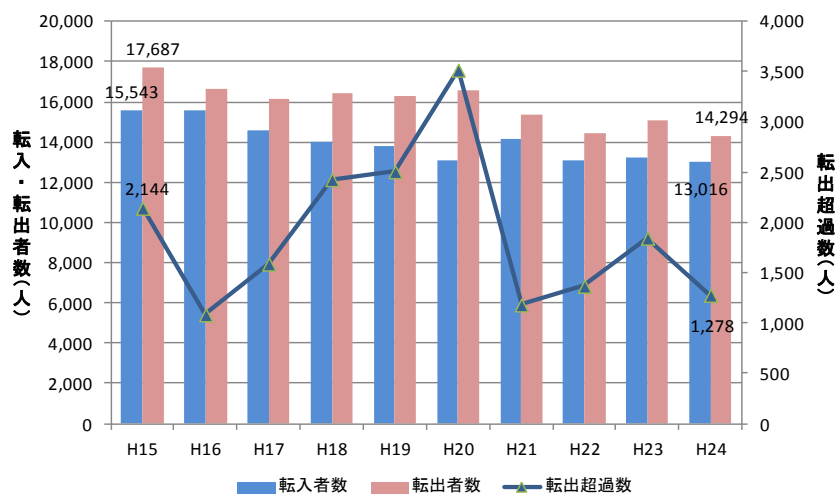


図1-20 転入・転出者数の推移【山梨県】

資料:住民基本台帳人口移動報告(総務省)

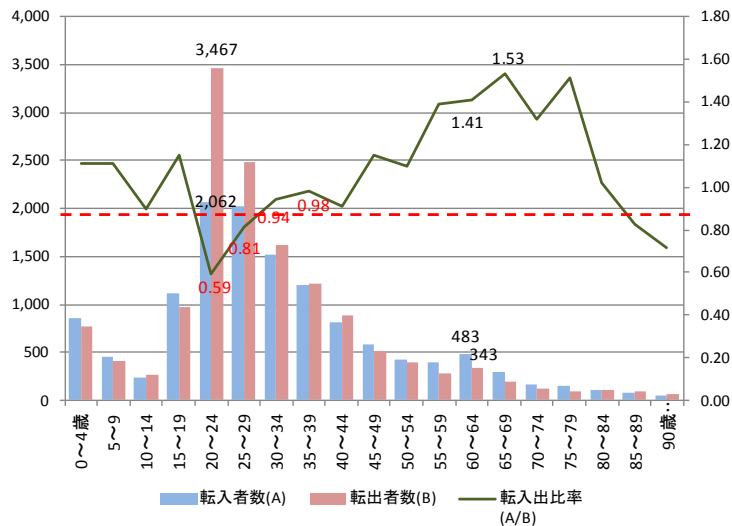


図1-21 転入出比率(5歳階級別)【山梨県】

資料:住民基本台帳人口移動報告(総務省)

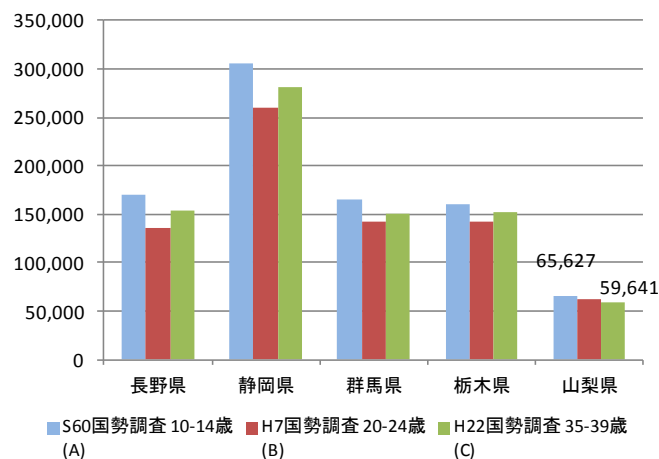


図1-22 団塊ジュニア流入人口推移 他県との比較

資料:住民基本台帳人口移動報告(総務省)

注)団塊ジュニア世代は、1971年から1975年生まれとした。

甲府市は、山梨県内他市町村と比較し、人口が最も減少している。

参考までに本県全体の動向を年齢階層区分別にみると、若年層(20歳から29歳)の減少が大きい。これは、進学、就職などで県外に流出する層が多いと想定できる。

また、これら転出層は、県内に再転入していない場合も想定できる(団塊ジュニア世代の流入人口推移を見ると、本県は一貫して減少傾向にある。本県が一貫して転出人口超過であることから、団塊ジュニア世代以下の層においても同様の傾向にあると想定できる)。